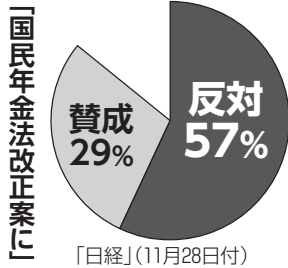


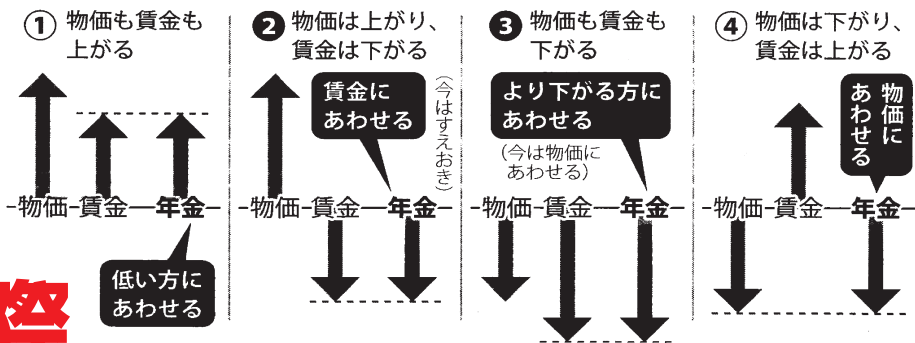
# 年金

今国会の焦点、「年金カット法案」(国民年金法等改定案)。物価が上がっても、年金が引き下げられる新たな仕組みを盛り込んでいます。高齢者に打撃だけでなく、「将来世代」も下がった年金を引き渡される仕組みです。



「国民年金法改正案」

## 将来世代も給付が下がる



# 際限なくカット

4つのケースの中で法案のひどさが浮き彫りなのは、物価が上昇し、賃金が下落した場合(図②)。現行法では年金をすえおいています。物価が上がっているのに、年金を減らす訳にはいかないからです。ところが法案では、賃金の下落に合わせて年金を減らします。

物価も賃金も下落した場合(図③)、現行法では物価に合

せて年金を減らしますが、法案ではより低い方に合わせます。

物価も賃金も上がる場合(図①)、年金が増えるはずですが、年金を抑制する仕組み=マクロ経済スライドを強化。年金が増えないケースもあります。

ひたすら低い方に合わせる仕組み。参院で必ず廃案に。

**日本共産党**

# カジノは犯罪 強行やめよ

賭博を合法化するカジノ解禁推進法案が共産、民進両党が強く反対する中、衆院内閣委で自民、維新などの賛成多数で可決。わずか2日、6時間の審議で強行しました。



カジノ法案の問題点を追及する共産党・清水忠史議員=2日、衆院内閣委(「しんぶん赤旗」提供)

## 衆院委審議 2日、6時間で採決

百害あって一利なし

刑法は刑罰で賭博を厳しく禁じています。「勤労の美風を害する」「犯罪を誘発」するからです。カジノは最も刺激的で、暴力団の関与、マネーロンダリング(資金洗浄)、青少年への悪影響など「百害あって一利なし」です。

特に深刻なのはギャンブル依存症。パチンコ、競馬、競輪…。日本には536万人もの患者があり、すでに世界最悪の依存症大国です。

何の価値も生み出さない

「経済効果」といいますが、カジノは人の金を巻き上げるだけで何の価値も生み出しません。「他人の不幸や不運を踏み台にするような成長戦略は極めて不健全」(「読売」2日付社説)です。

全国5紙がそろって反対の社説を掲げ、地方紙もいっせいに批判。世論調査でも57%が解禁反対(「読売」5日付)。こんな法案の強行は絶対に許せません。

「あまりに唐突」全国5紙反対

**日本共産党**

近畿民報

2016年12月 No.2(第256号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

しんぶん赤旗

日刊 16  
(毎日配達されます)  
月3,497円

日曜版 36  
(毎週配達されます)  
月823円

お申し込みは  
お近くの党事務所か  
党員までお願いします

折り目